



平成22年度小郡市国民健康
保険事業特別会計補正予算
(第2号)(議案第36号)

国が平成23年度から導入するレセプト審査支払いシステムを国保連合会で導入するため、その負担金として、213万4千円を増額するもの。
なお、国の補助があるので市の負担はない。
問・レセプトに関する問い合わせ等について。
答・市で対応することになる。

都市経済常任委員会報告

都市経済常任委員会は、6月8日に開催され、付託を受けた執行部提出議案4件(分割付託2件を含む)の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

平成21年度小郡市一般会計補正予算(第5号)(報告第6号)

農業施設災害復旧費について

では、災害により農業施設の復旧が必要な場合の県の補助事業だが、この補助事業に該当する農業施設の災害がなかったため50万円を減額するもの。

問・昨年の記録的な大雨による農業施設への災害はなかったのか。
答・この事業については採択基準があり、災害の査定も厳しくなっている。昨年の大雨による農業施設の災害については県とも協議をしたが、災害箇所が小さく、この事業の対象とするのは厳しいということだったので、各行政区において農地水環境保全向上対策の予算で対応できるところは、その予算で対応している。



▲平成21年7月26日の大雨(宝満川)

平成21年度小郡市下水道事業特別会計補正予算(第3号)(報告第8号)

公共下水道整備事業1、435万4千円の減額については、事業費の確定に伴うもの。

問・減額分は、当初計画していた事業が終わった残額だと考えていいののか。
答・補助事業と単独事業とが絡んでいるが、補助事業分は100%執行している。それに付随する単独事業の事業費確定に伴い減額するもの。



▲下水道工事風景

平成22年度小郡市一般会計補正予算(第1号)(議案第35号)

地域商品券発行事業550万円の増額については、小郡市商工会が主体となつて行う1億円分のプレミアム商品券発行事業に対する補助で、10%のプレミアム部分の内、市から550万円、県から300万円を補助するもの。
問・この事業が当初予算では

なく補正予算になった理由について。
答・この地域商品券発行事業については事業主体がなければ予算が組めないと考えており、今回、事業主体となる小郡市商工会からこの事業に取り組みたいとの話があったのが本年4月であり、当初予算に間に合わなかったため補正予算となった。

主な議案の内容

★小郡市税条例の一部を改正する条例(報告第5号)

地方税法の一部を改正する法律が制定交付されたことに伴うもの。主な改正内容としては、平成24年から実施される個人住民税の扶養控除の見直しに伴い、扶養親族の情報収集に関する根拠を規定するもの。また、本年10月からのたばこ税の税率引き上げに伴い、現在、千本当たり3、298円の税率を千本当たり4、618円に改正するもの。

★小郡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第27号)

労働基準法の改正に伴い、

月60時間を超える時間外勤務でかつ、土日に勤務して平日に振替休暇を取った場合の時間外勤務手当の支給割合を百分の25から百分の50に改正するもの。

★職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第28号)

労働基準法の改正に伴い、職員が代休を取った場合も組合活動ができるよう改正するもの。

★特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第29号)

国によるまちづくり交付金事業に関し、この事業の評価を行うために小郡市まちづくり交付金評価委員会を設置するので、その委員の報酬を定めるもの。

★小郡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第30号)

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正により、育児休業の範囲が拡大したことに伴い改正するもの。

★職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第31号)
 地方公務員の育児休業等に関する法律の改正により、職員の育児短時間勤務ができるようになったことに伴い改正するもの。

★小郡市奨学資金条例の一部を改正する条例の制定について(議案第32号)
 高校授業料無償化に伴い、受給資格の一部を改正するもの。

★小郡市立幼稚園の授業料等の減免に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第33号)
 国の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の補助限度額が改正されたことに伴い、市立幼稚園に就園する4、5歳児の保護者で所得の低い方の負担軽減を図るため、入園料、授業料の減免の限度額を改正するもの。

請願

継続審査

保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書
 請願者 福岡県保育団体連絡会

成富正敏

賛否が分かれた案件

議員名	田代和誠	城山雅朗	百瀬光子	入江和隆	佐々木益雄	竹腰昭	田中雅光	新原善信	井上勝彦	松村みやこ	山田忠	田中登志雄	佐藤尚武	松尾昌弘	徳富正夫	成富一典	廣瀬勝栄	
案件						×												
報告第4号 専決処分(小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)						×												

小郡市議会を傍聴しませんか

市議会を傍聴して一緒に市政を考えましょう

◇定例会議は、年4回、3、6、9、12月に開催されます。

◇定例会議では市政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を市長等にたずねる議員の質問(一般質問)も行われます。

◇議会の日程や質問事項は、市のホームページで公表しています。

次の定例会は九月上旬に開かれる予定です。

議会の日程などについての問い合わせは、市役所議会事務局(七二二二二二一)内線六一二二まで。

公職選挙法では、政治家が選挙区内の人に対し、次のような行為をすることは禁止されています。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。

●入学・卒業・就職・出産などの祝いに金品を贈ること

●病気見舞いに金品を贈ること

●お歳暮やお中元を贈ること

●葬式の花輪・供花を贈ること

●お祭りの時にお金を寄付したり、お酒を贈ること

●議員が年賀状等のあいさつ状を出すこと(答礼のための自筆によるものは除く)



編集後記

世界中を熱狂させたサッカーワールドカップは、スペインの優勝で幕を閉じました。

日本も大躍進、若者を中心に大いに盛り上がり、寝不足の日が続いた方も多かったのではないのでしょうか？

チームの気持ちが一いつになった事が、大躍進の原動力だったそうです。

一方、参議院選挙はというと、いまひとつ盛り上がりがない。政治と国民の気持ちが一いつになっていないからなのか？

四月に市議会議員の改選が行われました。

『小郡の為に、市民の為に』と気持ちを一いつに、信頼される市議会を目指し、市民の皆様への負託にこたえて参ります。

(勝)

議会報編集委員会

- 委員長 井上勝彦
- 副委員長 田代和誠
- 委員 百瀬光子
- 委員 佐々木益雄
- 委員 竹腰昭
- 委員 田中雅光